

14 Mobile Robotics

ロボットソフト 組込み



目指すは未来のロボットエンジニア

移動式ロボットの構造を設計し、その動きをソフトウェアで指示する技術。アイデア次第でこの世にない新しいロボットを作ることができ、その技術とアイデアは社会貢献につながると期待されています。ロボットは、工場の中で安全かつ効率的に物を運んだり、災害現場や宇宙などで人に負担の大きい仕事を担っています。話をしたり楽器を演奏したりと、生活を豊かにしてくれるロボットも登場するなど、人と共存するロボットが増え、エンジニアの活躍の場も広がっています。

POINT

必要なのは機械、電子、情報の複合的な技術力!

競技では、移動式ロボットの設計・製作やメンテナンス、プログラミング能力を競います。大会当日までに、事前公開された資料を参照しながらロボットを製作します。また、製作したロボットの特性を理解し、搭載されているセンサーからの信号を活用しながら、ロボットプログラミングを学習します。大会当日、2名の選手が協力して、競技課題の目的を達成するロボットを実現します。

池田 知純 主査
職業能力開発総合大学校



2019年大会 参加選手の状況

高等学校（工業系）：20チーム
高等学校（専攻科）：1チーム
都道府県職業能力開発施設：2チーム
職業能力開発大学校：1チーム
職業能力開発短期大学校：1チーム
大 学：1チーム

※2020年大会はコロナ禍により中止

